

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式												
EU11A301		生徒指導・教育相談・特別支援基礎(Foundations of Student Guidance, Educational Counseling and Special Needs Education)					基礎理論科目													
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員														
必修	2	1	教育学研究科	前期		氏名 内田 昭利, 佐藤 晋治, 藤村 晃成, 宮崎 好治, 高橋 徹弥 E-mail ssato@oita-u.ac.jp 内線 7531														
授業の概要	児童生徒の個性を活かす教育環境の構成について理解を深め、課題を発見し、具体的な対応を立案・検討する力を養う。学校教育においては、「個に応じた指導」や「発達や成長過程の特性に応じた支援」を実践していくうえで、生徒指導や教育相談を通じた児童生徒との関わりは極めて重要となる。また、このような個別対応や個々の児童生徒理解を深めていくうえで、特別支援教育における理論や考え方(アセスメントやユニバーサルデザインなど)を取り入れていくことは指導の効果を高める。本授業では、これらの理論的な知見を学ぶとともに、学校現場における問題事例をもとに、現状の課題を発見し、具体的な対応策を立案・検討する能力を養う。																			
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)									1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1	教育環境を構成するための生徒指導に関する実践的知識について深く理解できる。																			
目標2	教育環境を構成するための教育相談に関する実践的知識について深く理解できる。																			
目標3	教育環境を構成するための特別支援教育に関する実践的知識について深く理解できる。																			
目標4	学校現場の事例を題材として現状の課題を発見し、具体的な対応策を立案検討できる。																			
目標5																				
目標6																				
目標7																				
目標8																				
目標9																				
目標10																				
授業の内容																				
1 授業テーマに関する学校の具体的な課題の理解																				
2 生徒指導の原理に関する講義																				
3 生徒指導における学級経営の課題に関する事例分析																				
4 生徒指導における個別支援の課題に関する事例分析																				
5 生徒指導における地域連携の課題に関する事例分析																				
6 組織的に対応する生徒指導の取組についての具体策検討																				
7 教育相談に関する講義と現状の課題分析																				
8 不登校児童生徒に関する対応事例分析																				
9 家庭環境に起因する問題への対応事例分析																				
10 教育相談研修プログラムの立案・検討																				
11 専門機関との連携についての立案・検討																				
12 特別支援教育に関する講義と現状の課題分析																				
13 特別支援教育の意義、現状と課題に関する講義																				
14 特別支援教育に関する事例分析																				
15 諸課題に向き合うための学校組織・体制づくりについて具体策立案と検討																				
ラーニング	A:知識の定着・確認	プレゼンテーション, ディスカッション, パズセッション					工夫	その他の												
	B:意見の表現・交換																			
	C:応用志向																			
	D:知識の活用・創造																			
時間外学習の内容と時間の目安	準備	プレゼン準備(10h)																		
	事後	文献, インターネット等を用いた事例研究(10h)																		
教科書	・小学校学習指導要領、平成29年3月告示、文部科学省 ・中学校学習指導要領、平成29年3月告示、文部科学省 ・生徒指導提要(改訂版)、令和4年12月、文部科学省																			
参考書	授業中に指示する。																			
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10								
	複数教員による多面的・総合的評価(受講態度、課題・討論の取組など)	70%																		
	最終レポート(本授業において学んだ事や今後解決すべき課題など)	30%																		
注意事項																				
備考																				
リンク	URL																			

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の実務 経験	内田 昭利（小，中，特別支援学校教員）佐藤 晋治（臨床心理士・学校心理士）宮崎 好治（小学校教員，指導主事）高橋徹弥（特別支援学校教員，指導主事）
実務経験を いかした教 育内容	学校現場や教育行政，学校カウンセリング等の実務経験に基づく指導を行う